

2025 年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘南ふれあい学園 医療ビジネス観光福祉専門学校は、2026 年 3 月 27 日に「2024 年度（令和 6 年度）自己点検・自己評価報告書」に基づき、学校関係者評価を実施しましたので下記のとおり報告いたします。

2026 年 3 月 31 日

学校法人湘南ふれあい学園
医療ビジネス観光福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 山本 大介

記

1. 学校関係者評価委員会の開催状況

開催日時	2026 年（令和 8 年）3 月 27 日（金曜日）	9 時 30 分 ～ 10 時 30 分
会場	医療ビジネス観光福祉専門学校	会議室

<委員>（五十音順）

倉持 裕一	株式会社 FMC 財務部 部長
八巻 祐治	医療ビジネス観光福祉専門学校 非常勤講師
望月 あけみ	ふれあいグループ介護部会有料部 部会長
山本 大介	湘南東部総合病院 総務課、医療マネジメント学科 卒業生

<事務局>

石代 欣一郎	医療ビジネス観光福祉専門学校 学校長
武石 稔弘	医療ビジネス観光福祉専門学校 介護福祉学科 教務主任
川脇 由美子	医療ビジネス観光福祉専門学校 観光学科 教務主任
遠藤 暁生	医療ビジネス観光福祉専門学校 医療ビジネス学科 教務主任代行
藤田 学	医療ビジネス観光福祉専門学校 事務責任者

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

別紙のとおり

以上

別紙

基準項目ごとの学校関係者評価・意見

(1) 教育理念・目標

ふれあいグループの教育理念・目標は学生までしっかりと浸透しているのか。入学当初のオリエンテーションや学内掲示等でも示している。今後も浸透する機会をより一層与えていく。

(2) 教育活動

特に留学生を中心に、入学後の学生のフォローもしっかり行い、社会に求められているカリキュラムを遵守し教員の質の向上を図る。

(3) 学生受入れ

集客できる広報活動の展開を教職員一丸となって魅力ある学校づくりに注力をしていく。特に日本人の増員は必須である。

(4) 教職員組織

専任教員の担当科目数が多い。数名が入れ替わることになり、新任の教員が増えたので、授業以外の学生指導や広報活動に支障が出ないように検討していく。

(5) 施設・設備等

清掃は行届いており「古いけれど清潔に保ち、築後 40 年近い施設だが学びの場として適切な状態を保っている。引き続き継続できるようにすること。

(6) 学生生活活動

感染防止対策は引き続き行っているが、留学生の母国におけるワクチン接種の精査はしていなかった。今後の課題となるだろう。学内が感染源となることはなかった。

(7) 管理・運営

事務も含めて、人が入れ替わることになるため、学内の校務分掌を見直し、機能的、効率的に学生指導につなげられるよう改革を行う。

以上